



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 日本化学産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,719	20.4	830	25.3	953	20.0	650	35.4
2020年3月期第2四半期	10,950	9.6	1,112	18.3	1,192	18.7	1,005	20.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,530百万円 (36.0%) 2020年3月期第2四半期 1,125百万円 (11.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	32.42	
2020年3月期第2四半期	50.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	42,883	37,627	87.7	1,876.69
2020年3月期	41,809	36,398	87.1	1,815.37

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 37,627百万円 2020年3月期 36,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		14.00			
2021年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期の第2四半期末および期末配当金15円には、普通配当14円に、当社の前身である柳澤有機化学工業所の創業80年記念配当1円が含まれております。

投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,290	15.0	1,900	20.0	2,100	18.6	1,400	29.2	69.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	20,680,000 株	2020年3月期	20,680,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	629,930 株	2020年3月期	629,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	20,050,113 株	2020年3月期2Q	20,048,094 株

注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式(2021年3月期第2四半期33,502株、2020年3月期 33,502株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	11
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、昨年度後半からの米中貿易戦争の影響に加えて新型コロナウイルスの世界的な感染拡大(以下、コロナ禍といいます。)により、海外経済が減速したことから輸出、生産が停滞しました。また、国内においても緊急事態宣言に伴う外出自粛や休業要請のため、個人消費が停滞し、入国制限によりインバウンド需要もほぼ消失する等、企業収益を大きく下方修正せざるを得ない状況となりました。その後、コロナ禍の第1波がピークアウトしたことから経済活動は徐々に再開されましたが、回復のペースは鈍く、経済活動再開に伴う新型コロナウイルス感染の再拡大も懸念される等、コロナ禍の収束の目途も依然として立たず、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは時差出勤、移動の自粛、在宅勤務体制の整備等のコロナ禍防止策を講じ、従業員等の安全を最優先に考えた措置を取るとともに、生産活動をはじめとする全ての事業活動に影響を及ぼさないように努めてまいりました。また、更に厳しさを増した事業環境のなか、業績の再浮上を図るべく、新製品・新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大及び新規ユーザーの開拓に取り組むとともに、コスト・経費の引き下げ、ITを活用した業務の効率化、生産拠点や生産工程の最適化等の生産性向上による価格競争力の向上と低コスト体質の強化に引き続き取り組んでまいりました。

しかしながら、コロナ禍による海外経済の減速継続による需要の減退に加え、国内における緊急事態宣言により当社及び取引先の営業・生産活動が制約を受けたことを主因に、当第2四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比2,230百万円 20.4%減の8,719百万円、営業利益は前年同四半期比281百万円 25.3%減の830百万円、経常利益は前年同四半期比238百万円 20.0%減の953百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比355百万円 35.4%減の650百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業は、引き続き厳しい事業環境下、第2四半期には徐々に営業活動を開始することができましたが、依然として制約があることから、効率的な生産プロセスの構築及びリサイクル原料の活用拡大等による利益の確保を目標としました。しかしながら、第2四半期に入ってもコロナ禍の継続等により需要が回復せず、生産・販売数量が伸び悩み、売上高は前年同四半期比2,008百万円 22.1%減の7,081百万円となりました。

利益面では、コスト・経費引き下げ及び一部生産性向上は実現できたものの、国内の売上高減少に加え、生産数量減少に伴う固定費負担増の影響で主力製品の採算性が低下したこと等により、営業利益は前年同四半期比194百万円 21.7%減の701百万円となりました。

[建材事業]

建材事業は、昨年度まで業績は堅調に推移しており、更なる業績拡大のため、販路拡大、非住宅分野への進出にも取り組んでまいりました。しかしながら、業績に大きく影響する新設住宅着工戸数は依然として低調に推移し、薬品事業と同様に第2四半期に入り、営業活動は再開できたものの、コロナ禍に

よる住宅着工の遅れや当社及び取引先の営業活動が制約を受けたこと等により、主力製品の防火通気見切り縁を含む住宅建材が低調に推移したことから、売上高は前年同四半期比 222 百万円 11.9%減の 1,638 百万円、営業利益も前年同四半期比 94 百万円 17.7%減の 439 百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第2四半期連結累計期間における流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、売上高減少により売上債権が減少し、たな卸資産も減少したことにより、前連結会計年度末比 45 百万円減の 24,632 百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が機械及び装置等の償却が進んだことから前連結会計年度末比 238 百万円減の 7,329 百万円となりましたが、保有株式の株価が回復したことから投資その他の資産が前連結会計年度末比 1,371 百万円増の 10,726 百万円となったことにより、前連結会計年度末比 1,120 百万円増の 18,251 百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比 1,074 百万円増の 42,883 百万円となりました。一方、流動負債は、仕入債務及び未払法人税が減少したことにより、前連結会計年度末比 610 百万円減の 3,915 百万円となり、固定負債は有価証券評価差額金増加に伴う繰延税金負債が増加したことにより前連結会計年度末比 455 百万円増の 1,340 百万円となりましたが、負債合計では前連結会計年度末比 154 百万円減の 5,256 百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 1,229 百万円増の 37,627 百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 87.1%から 87.7%となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,961 百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで548 百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで199 百万円減少し、この結果、換算差額による影響額等も含めると、当第2四半期連結累計期間末は、前連結会計年度末に比べ1,186 百万円増加し、15,039 百万円となりました。また、前年同四半期比では1,440 百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、1,961 百万円の増加(前年同四半期は1,620 百万円の資金の増加)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額 397 百万円、仕入債務の減少 350 百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益 934 百万円、減価償却費 469 百万円、売上債権の減少 1,087 百万円、たな卸資産の減少 91 百万円、未払消費税等の増加 131 百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、548 百万円の減少(前年同四半期は 89 百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出 335 百万円、無形固定資産の取得による支出 141 百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、199 百万円の減少(前年同四半期は 164 百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、短期借入金純増額が 101 百万円あったものの、配当金の支払額が 300 百万円あったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、第3、第4四半期の事業環境は依然として不透明ではありますが、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2020年10月16日に公表しました『業績予想の修正に関するお知らせ』の通り、売上高を下方修正いたしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,152,897	15,339,396
受取手形及び売掛金	6,241,602	5,144,264
商品及び製品	1,328,387	1,418,187
仕掛品	1,052,888	802,100
原材料及び貯蔵品	1,802,931	1,858,627
その他	100,838	71,215
貸倒引当金	△1,440	△1,140
流動資産合計	24,678,105	24,632,652
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,269,052	2,123,958
その他(純額)	5,299,675	5,205,987
有形固定資産合計	7,568,728	7,329,946
無形固定資産		
	206,481	194,280
投資その他の資産		
投資有価証券	5,889,735	7,273,434
繰延税金資産	1,241	1,408
その他	3,466,550	3,453,715
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	9,355,957	10,726,989
固定資産合計	17,131,166	18,251,215
資産合計	41,809,272	42,883,868
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,383,018	2,026,807
短期借入金	391,000	492,000
未払法人税等	398,032	285,486
賞与引当金	390,000	345,000
役員賞与引当金	30,000	15,000
その他	933,869	751,498
流動負債合計	4,525,920	3,915,792
固定負債		
繰延税金負債	492,314	923,247
退職給付に係る負債	308,526	312,313
役員株式給付引当金	33,584	43,988
資産除去債務	600	600
環境対策引当金	-	10,828
その他	49,977	49,261
固定負債合計	885,002	1,340,238
負債合計	5,410,923	5,256,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	1,029,965	1,029,965
利益剰余金	33,092,963	33,441,830
自己株式	△362,294	△362,347
株主資本合計	34,794,634	35,143,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,290,188	2,247,977
為替換算調整勘定	406,587	308,598
退職給付に係る調整累計額	△93,061	△72,188
その他の包括利益累計額合計	1,603,714	2,484,387
純資産合計	36,398,349	37,627,836
負債純資産合計	41,809,272	42,883,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	10,950,059	8,719,915
売上原価	8,478,287	6,616,913
売上総利益	2,471,772	2,103,001
販売費及び一般管理費	1,359,504	1,272,621
営業利益	1,112,268	830,379
営業外収益		
受取利息	7,841	5,937
受取配当金	60,436	67,861
不動産賃貸料	35,135	36,286
為替差益	-	1,953
その他	20,664	38,541
営業外収益合計	124,077	150,580
営業外費用		
支払利息	5,020	4,426
売上割引	3,538	2,556
賃貸収入原価	20,498	20,548
為替差損	15,072	-
その他	16	88
営業外費用合計	44,146	27,620
経常利益	1,192,199	953,339
特別利益		
固定資産売却益	579	14
子会社清算益	74,581	-
補助金収入	699,498	-
特別利益合計	774,660	14
特別損失		
固定資産除却損	21,422	7,991
投資有価証券評価損	38,861	-
固定資産圧縮損	508,362	-
環境対策引当金繰入額	-	10,828
特別損失合計	568,647	18,819
税金等調整前四半期純利益	1,398,212	934,534
法人税等	392,364	284,412
四半期純利益	1,005,847	650,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,005,847	650,121

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	1,005,847	650,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,385	957,789
為替換算調整勘定	△2,997	△97,988
退職給付に係る調整額	8,003	20,872
その他の包括利益合計	119,391	880,673
四半期包括利益	1,125,238	1,530,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,125,238	1,530,794
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,398,212	934,534
減価償却費	442,404	469,523
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△460	△300
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	△45,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△15,000
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10,015	△790
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,654	4,041
環境対策引当金の増減額(△は減少)	-	10,828
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,289	10,404
固定資産除却損	21,422	7,991
固定資産売却損益(△は益)	△579	△14
受取利息及び受取配当金	△68,277	△73,799
支払利息	5,020	4,426
投資有価証券評価損益(△は益)	38,861	-
固定資産圧縮損	508,362	-
子会社清算損益(△は益)	△74,581	-
補助金収入	△699,498	-
売上債権の増減額(△は増加)	971,976	1,087,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108,240	91,963
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,349	△350,804
未払消費税等の増減額(△は減少)	△215,702	131,570
未収消費税等の増減額(△は増加)	△49,926	56,843
その他	30,519	△34,543
小計	2,009,093	2,288,923
利息及び配当金の受取額	69,066	74,552
利息の支払額	△5,020	△4,426
法人税等の支払額	△452,862	△397,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,620,276	1,961,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600,000	300,000
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,098,118	△335,541
有形固定資産の売却による収入	580	14
無形固定資産の取得による支出	△1,890	△141,604
投資有価証券の償還による収入	100,000	-
投資有価証券の取得による支出	△360	△3,955
生命保険積立金の解約による収入	-	24,988
生命保険積立金の積立による支出	△17,257	△17,138
補助金の受取額	699,498	-
その他	△71,876	△75,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,424	△548,865

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	858,000	785,000
短期借入金の返済による支出	△744,200	△684,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△301	-
自己株式の売却による収入	997	-
配当金の支払額	△278,951	△300,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,455	△199,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,879	△26,882
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,381,276	1,186,499
現金及び現金同等物の期首残高	12,217,514	13,852,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,598,790	15,039,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,089,924	1,860,134	10,950,059	—	10,950,059
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,089,924	1,860,134	10,950,059	—	10,950,059
セグメント利益	895,765	534,362	1,430,127	△317,859	1,112,268

(注) 1.セグメント利益の調整額△317,859千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,081,881	1,638,034	8,719,915	—	8,719,915
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,081,881	1,638,034	8,719,915	—	8,719,915
セグメント利益	701,497	439,937	1,141,435	△311,056	830,379

(注) 1.セグメント利益の調整額△311,056千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。